



# 田植え



# カノン 通信

No. 16号

令和3年6月号

年間目標

『体調を整えて仕事に取り  
組みましょう』

月間スローガン

『ラジオ体操をしっかり  
しましょう』

6月3日(木)に朝から農業班で田植えをしました。田んぼの半分以上は機械で植えて残りは利用者さんたちで手植えをしました。



田んぼに入るのが初めてといった利用者さんにとっても慣れない作業でしたが秋に実る稲を楽しみにして一生懸命に苗を植えていました。



田植えも終わり、カエルたちの鳴き声も響いています。じめじめムシムシとした気候が続きますが、健康的な食事と十分な睡眠を心掛けてこの季節を乗り切っていきましょう！



## 今月の給食メニュー



ご飯  
チキンピカタ  
野菜炒め  
ピーマン胡麻和え  
みそ汁  
漬物



梅・じゃこのご飯  
季節シューマイ  
秋刀魚みりん焼  
いんげん胡麻和え  
吸物  
漬物



## 竈山神社トイレ清掃

カノンでは月に一度、ボランティアで竈山神社のトイレ清掃を行っています。神社に参拝される方が使用するトイレを綺麗にすることで、地域社会への貢献を目指しています。神社の鳥居をくぐると背筋がピンとしますよね。今年カノンの仲間になった方も一生懸命清掃作業に取り組んでくれました。皆さんの頑張りに神様もたっぷりです！！



ピカピカ  
だね！！



## 社会福祉法人芳春会「法人理念」「使命」「方針」「職員目標」のおはなし

施設長 岩淵 拓也

芳春会の「法人理念」は、ノーマライゼーションの精神に則り次のとおり定めています

**私たちは、知的障がいを持つ方と、ともに手をつなぎ支え合い**

**作業支援・生活支援のお手伝いをする事により、**

**地域社会で幸せに暮らせることを目指します。**

「法人理念」とは、その法人が最も大切にしている考え方であり、存在意義・価値観を活動の拠り所として示したものです。

次に、社会福祉施設の「使命」とは、良質かつ適切な福祉サービスを提供することです。又、福祉サービスにおいては「指導」・「援助」・「支援」という言葉を聞きますが、その内容は次のとおりです。

- ・「指導」：とある意図された方向へ教え導く事。英語では“coaching”となります。
- ・「援助」：本人が出来ない事を代わりにやってあげる事。“assistance”となります。
- ・「支援」：本人が出来るように支える事。成し遂げるのは本人です。“support”となります。

「指導」・「援助」が一方的に上の立場の者から下の立場の者に対して与えられるのに対し、「支援」とは一緒に成し遂げられるように支えるイメージです。

利用者さんに何かをさせたり（「指導」）、出来ないからと言ってしてあげたり（「援助」）するのではなく、出来るように支える（「支援」）ことが重要であるという考えです。

つまり理念を解りやすく言い換えると

**私たち芳春会の職員は、知的障がいを持たれた利用者さんと一緒に手を取り、自立するために作業や生活動作が成し遂げられるように支え、最終的には利用者さんが、福祉サービスを利用しながら、住み慣れた地域社会で地元の健常者の人と共に幸せに暮らしていただけることを目指します。**

という事になります

「基本方針」とは、「法人理念」を達成するための基本的な方向性を示したものです。

芳春会では次の3つを上げています。

### 1 人を活かす

利用者の方の希望を尊重し、能力に応じた細やかな指導を行い、その能力を活かせるように勤めます。利用者の能力を活かせるように、職員の能力を高め、サービスの向上を図ります。

### 2 人との和

利用者的人格・尊厳を尊重し、保護者・利用者・職員の和を大切にします。

### 3 地域との輪

『地域に開かれた施設』作りを勧め、障がい者やその家族の願い、地域福祉のニーズに応えるように勤めます。

「基本方針」を具体的に示したものが「指導指針」で以下の通りです。

社会生活に必要な習慣やマナーを個々の能力に合わせ身につけ、働く意欲と技術を養成し社会的自立が出来るようにサポートする。

この他に職員が自ら考えた「職員目標」があります。

- ・ 私たち職員はお客様に寄り添い手をつなぎ合い、自立する為のあらゆる支援を行います。

以上が、社会福祉法人芳春会とそこで働く職員の職務に対する思いでした。